

授業における生成 AI の活用例

システム情報系教授 河辺徹／先端教学推進機構准教授 棚橋沙由里

(学生向け)

【良い活用例】

- ・生成 AI によって生成された文章やアイデアを評価し、その正確性や信頼性について批判的に考える訓練を行う。これにより、情報の信頼性を評価する力や批判的思考のスキルを養うことができる。【批判的思考の促進】
- ・プログラミングの授業で、学生自身が作成したプログラムを基に、生成 AI と対話しながら、効率的にプログラムのブラッシュアップを行う。また、エラーが発生した際には、生成 AI を使ってデバッグのヒントや修正方法を提案してもらう。【コード生成とデバッグ支援】
- ・特定の課題において、生成 AI を使って異なる文化的背景を持つ人々の視点を模倣させる。これにより、異なる視点を理解し、グローバルな視野を広げる。【異文化理解】
- ・レポートを書く際に、自分の作成したものを基に、生成 AI と対話しながら、自分の文章をブラッシュアップする。AI によるフィードバックを活用して、より明確で論理的な文章を作成する。【ライティングアシスタンス】

【悪い活用例】

- ・生成 AI に課題の解答やレポートの全てを作成させ、そのまま提出する。【完全依存】
- ・生成 AI を使った場合、意図せずに他人の著作物やアイデアをそのまま盗用している可能性が生じる。【著作権侵害/学問的不正行為】また、誤った情報や偏った視点を含む内容となっている可能性がある。【誤情報】
- ・生成 AI を使ってレポート等の課題を短時間で終わらせるために全面的に依存することで、自分の創造性を発揮させる機会を失い、想像力の発展が阻害される。【創造性の低下】
- ・生成 AI を利用する際に、自身の個人情報やセンシティブな内容を意図せずに提供してしまうことで、リスクが発生する。【プライバシーとデータセキュリティ】

(教員向け)

【良い活用例】

- ・生成 AI を使って過去の授業データや学生のフィードバックを基に最適なカリキュラムを設計する。【授業計画の効率化】
- ・学生が提出したレポートに対し、生成 AI を使って自動的に評価を行い、改善点や参考

文献の提案をフィードバックとして提供する。【レポート等の評価とフィードバック】

- ・生成 AI を使ってシミュレーション課題やケーススタディを作成し、学生が理論と実践を結び付けた問題解決に取り組めるようにする。【シミュレーションやケーススタディ課題の作成】

【悪い活用例】

- ・授業の内容や教材を教員自身が十分に理解せずに生成 AI で作成されたものをそのまま使用する。また、生成 AI が持つバイアスを考慮せずに使用し、偏った内容や不正確な情報を教材として提供する。【生成 AI に頼りすぎた授業準備】
- ・生成 AI を使って課題やテストの問題を作成する際、過去の試験問題や他の教員の著作物を結果的に無断で使用する。【学問的倫理の軽視】
- ・生成 AI に依存しすぎて、授業の本来の学習目標に関連しない、あるいは矛盾する教材を作成してしまう。【学習目標からの逸脱】